大樹高校 PTA だより 138 뮥

令和7年10月1日発行 発行人 鈴木 和昭 編集人 西尾 良太 櫻井健一郎 矢木 康嗣



PTA会長 鈴木

和昭

「PTA抱負」

TA会長を務めさせて ただくこととなりまし このたび、令和7年度

て先生方におかれまして、任義者の皆さま、そした鈴木です。 活動ならびにPTA活動は、日頃より本校の教育

心より御

礼申し上げます。に多大なるご理解とご協力を賜り、 見える関係性」や「温かな絆」こそが、今の ます。人数が少ないからこそ生まれる「顔のやかな教育が行き届いていると実感しており 以上の生徒が在籍し、 本校の強みであると私は考えております。 は一学年に三クラスずつ、およそ三百六十名 いぶん小さな規模となりましたが、その分、 に満ちておりました。現在は当時に比べてず 人ひとりの生徒がより大切にされ、きめ細 私は本校の卒業生でもあります。 子どもたちは、先日の高体連や学校祭とい 校舎や校庭は常に活気 在学当時

が高校生活を豊かにし、将来につながる大ききたいと思います。こうした日々の積み重ねち大人も温かく見守り、しっかりと支えてい を切る大切な時期に差しかかっており、私た 生にとっては、進学や就職に向けて大きく舵 な糧となると思います。 力を合わせて挑戦する姿からは、 た大きな行事を無事に終えました。 頼もしさを感じることができました。三年 大きな成長 仲間と

まざまです。無理のない範囲で少しずつお力手伝いやアイデアの提供など、関わり方はさ修の場への参加はもちろん、ちょっとしたお修の場への参加はもちろん、ちょっとしたおかりました。これからの活動も、皆さま一人かりました。これからの活動も、皆さま一人ここで本年度のPTA活動も後半にさしか どもたちの安心と成長を支える礎となりま をいただけ す。どうか引き続きのご協力をよろしくお願 い申し上げます。 よう、皆さまと共に歩んでまいりたいと存子どもたちが笑顔で学び、力強く成長でき れば、それが大きな力となり、 子

らぬご支援をお願い申し上げ、ご挨拶といたじます。今後とも温かいご理解を賜り、変わ るよう、 します

髙橋 豊

方、子育ての大切さ、 成長してほしいと願う一 すこやかで立派な人間に 誰もが、自分の子どもは しさは、体験を通して、 子育てについて、 校長 親は 難

意味での学習を通じて、 多くの人が肌で感じています 力を獲得していきます。 極めて無能な状態で生まれてきます 味での学習を通じて、他の動物にはない能めて無能な状態で生まれてきますが、広い人間の赤ちゃんは、他の哺乳動物に比べて、

恵は、大人になっても心に脈打っているので引き出したのです。生後二か月での能力・知しようか。「あやす」ことによって、笑みをしょうか。「あやす」ことによって、笑みをっと、一生懸命あやしてあげたのではないで みの表情を浮かべて喜びます。みなさんもき ら始まるそうです。 赤ちゃんの「笑い」は、 あやせば小さいながら笑 生後二か月の 頃 カ

どもの内面にある能力を外に引き出す」というテン語の「エドゥカーレ」に起源があり、「子英語の「エデュケーション」(教育)は、

う意味です。

子育てについて_

ています。仕込みが悪いと良い物はできませではこの仕込みが一番大切で難しいと言われ作法を仕込むという意味があります。醸造業 と「美」の合成語です。「躾」には、 です。「しつけ」を漢字で書くと「躾」、「身」 承されます。その代表的なものが「しつけ」を通して、親から子へ、子からその子へと伝人間の生き方、ありようは、家庭という場 礼 儀 •

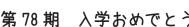
す。で理解、ご協め、健全育成上げました。 ジェン・。 えてみませんか。とりとめのないお話を申しえてみませんか。とりとめのないお話を申しえてみませんか。とりとめのないお話を申しえてみませんが、人へ成長する高校生のこの時子ともが大人へ成長する高校生のこの時 って、厳しい親の仕込みは必須です。ところきていかなければならない動物の子どもにと うな言語がありません。厳しい環境の中で生身につけています。動物の世界には人間のよ ようやく働いて自立の道を歩み出します。が人間の場合、二十年前後の歳月をかけて、 子どもは 親の後ろ姿を見て子は育つ」との名言。 健全育成に努めたいと考えております。 ご協力をよろしくお願い申し上げ .親の姿勢を、無意識に自然のうちに いて自立の道を歩み出します。 今後とも学校と家庭の連携を深

> をやってよかった、 委員長になりました。これから ンスをものにしたいと思い学級 る学校生活を送っていけるよう なる気は最初はなかったのです の学校生活でも学級委員長のチ に頑張りたいです。 ンスをものにし、 .ませんでした。私はこのチャ 、駄にしなくてよかったと思え 学級委員長になりたい人が チャンスを 学級委員長 仲良

「高校に入学して」 年A組 矢木明日

と思ったのが学級委員長でし 学校の生徒でした。なので、こ た。ですが、私は学級委員長に もっと挑戦できることはないか なりたいという気持ちで話しか るのかなと思いました。それで れからクラスの人たちとなじめ でした。私のクラスメイト十人 も私はクラスの人たちと仲良く 不安もないわけではありません 樹高校に入学しました。私には るのか楽しさと、期待と胸に大 くすることができました。私が したが、あとの十三人は違う中 待っているのか、どんな人がい 人たちとしゃべったり、 ました。そのおかげでクラス !同じ中学校からあがってきま 高校ではどんなことが う .. 0













学年主任 越 洋

年生

の

皆さん

組み、 の調子で、 がら仕事をやり遂げられるようになりました。こ ではお互いに気心も知 なりました。 大樹高校の普通科が地域探究科となり二年目と 更に問 入学してきた一 .題を解決できるように成長してくだ 間と力を合わ 色々な行事で協力しな せて探究活動等に取り 年生の皆さんも、 今

なるのです。 動に移した人の方が希望を叶えられる確率が高く いが大切です。 ったいことを今のうちから深く考えて動き出すこ また、 斉にスター 自分の キャリアデザインにお 特性を考えた上での早期活動 です トするもの 進路に関 から、 この 民しては、 ではありません。 社会のことをよく調 いては、 陸上競技 自 が肝要で 早く行 以の様に 分のや

とです。 努力することの重 生の先輩として思うことは、 DI 上が教 としての 要さに目覚めてほしいと言うこ 願 深いです 己の実力を確 が、 それ以外に人

日

近くで見ていながらも、 が何人かおりました。し かもし れませんでした。 ていました。 私の高校時代、 しれませ 結果、 今思うと、 将来を考えて努力していた友人 私は 努力もせず漫然と過ごし 現役で希望進路を叶えら それは当然だったの 私はそんな友人を

はなく日 この 強い 苦い ・意志と努力の 常がもたらす必然、 経験から得た教訓 加えておきます。 ある所には道が ということです。ま は、 結果とは が拓け 偶然で る、 と

ださい。 更なる飛 今を変えれば未来も変わります。 自分の希望が叶うように、 勉学に勤しんで実力をつけてく 日 頃 から

陸上

陸上部 部員 生 一 名 、 **高野**

選兼

・バドミントン部

ボミントン部 部長 本保生歩規 私たちバドミントン部は男子七名、女子二名の計 社名で活動しています。一人一人が前回の大会より も良い結果を出すことを目標に日々の練習などを んでいます。練習ではノックやパターン練習などを がいます。神習ではノックやパターン練習などを がいます。神習ではノックやパターン練習などを がいます。神習ではノックやパターン練習などを がいます。神習ではノックやパターン練習などを がいます。神習ではノックやパターン練習などを がいます。神習ではノックやパターン練習などを がいます。神習ではノックやパターン練習などを がいます。一人一人が前回の大会より なるで活動しています。一人一人が前回の大会より なるで活動しています。一人一人が前回の大会より

○第78回十勝高等学校陸上競技選手権大会兼第78 回北海道高等学校陸上競技場)
5月22日(木)~24日(土)
男子 1500m 木内 基暉 予選敗退(2分15秒79) 男子 800m 木内 基暉 予選敗退(1分6秒到1) 男子 1500m 木内 基暉 予選敗退(1分6秒到1) 女子走り幅跳び 高野 美羽 第2位(4m9)全道大会地出 ○第75回全十勝陸上競技場)6月17日(火)~6月27日(金) 第75回全十勝陸上競技場)6月17日(火)~6月20日(金) 第75回全十勝陸上競技場)6月17日(火)~月20日(金)第75回全十勝陸上競技場)6月17日(火)~月20日(金)第75回全十勝陸上競技場)6月17日(火)~月20日(金)第75回全十勝陸上競技場)6月17日(火)~月20日(金)第75回全十勝陸上競技場)6月17日(火)~月20日(金)第75回全十勝陸上競技場)7月15日(土)~8月2日(土)~8月2日(土) 7月15日(土)~8月15日(日) 7選敗退(1分分1秒8)男子 1500m 木内 基暉 予選敗退(1分分1秒8)男子 1500m 木内 基暉 予選敗退(1分分1秒8)男子 1500m 木内 基暉 予選敗退(1分分1秒8)男子 1500m 木内 基暉 予選敗退(1分分1秒8)男子 1500m 木内 基暉 予選敗退(1分分1秒8)第53)

和たち美術部は、三年二一、 和先生の計四人で活動しています。ジャン 月・水・金曜日の週三回活動しています。ジャン 月・水・金曜日の週三回活動しています。ジャン ています。夏休みの期間は高文連に向けた作品制 作を行っています。

○第70回高文連十勝支部美術展出品
 ○第70回高文連十勝支部美術展・研究大会 つど・ 870回会道高等学校美術展・研究大会 つど・ 10・9~10・10
 ○第70回高文連十勝支部美術展出品

つり(2)

むA

2

茶道部

茶道部

・バレー ボー ル 部

した。、挨拶や声掛けを意識しながら活動とた。そして、挨拶や声掛けを意識しながら活動を知り、コミュニケーションの大切さを学びまを知り、コミュニケーションの大切さを学びまれはバレーボール部に所属していますが、練習で私はバレーボール部 部長 島 愛華

してきました。
最後の高体連では、私たち三年生二名と後輩三名ともに、助っ人二名の力を借りてようやく出場とともに、助っ人二名の力を借りてようやくプレーができ、充実したが、支えてくださった方々のおかげで悔いなくプレーができ、充実した試合ができました。
三年間の部活動で培った経験は、これからの生活でも活かし、挨拶や礼儀を大切にしていきたいと思います。後輩や助けていただいた皆さん、本当にありがとうございました。高体連を終えた者として、改めてお礼申し上げます。

○令和7年度北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会十勝支部予選会 (よつ葉アリーナ十勝(帯広市総合体育館〉) 5月23日(金) 予選ブロックトーナメント オ樹 0ー2 帯広南商業 敗敗上により、予選ブロックカと !道高等学校総合体育大会バレー 竸

美術部

美術部

Ę

併あ

本道部は、二年生二名一年生一名と、顧問の渡邉 生く協力して頑張っています。時期によって行うお点前が異なるため大変ですが、部員全員で仲うお点前が異なるため大変ですが、部員全員で仲良く協力して頑張っています。今年度は一年生が 展しています。今年度は一年生が を生、英先生、外部講師の小島先生で火曜日と金 大生、英先生、外部講師の小島先生で火曜日と金 大生、英先生、外部講師の小島先生で火曜日と金 大生、英先生、外部講師の小島先生で火曜日と金

☆ 音更町総合福祉センター 3名参加○高文連十勝支部茶道専門部茶会研修会参於 とかちプラザ 2名参加☆ とかちプラザ 2名参加 クッキング部

3名参加

加

○小学生恵方巻料理教○牛乳・乳製品利用料 教室 (一月下. 料理コンクー -旬予定)

吹奏楽 部

本たち吹奏楽部は、三年生四名、一年生五名、顧問の先生二名の計十一名で活動しています。 されからも、より良い音楽を作り上げるを作る楽しさや、音楽をどう表現するかを学んでいます。 これからも、より良い音楽を作り上げるために、頑張っていきます。

日

いと思います。

さまざまなことに挑戦し、

頑張りた

けど充実した時間でした。この経験

を大切にし、これからも学校生活で

や一体感を改めて実感でき、

疲れた

部になれたと思うと嬉しかったで

学校祭を通して、仲間との協力

携わった垂れ幕も、

その雰囲気の一

たことが伝わってきました。

自分が

みんなが一生懸命準備してき

「学校祭を終えて」

年 A組 高橋穂乃実

どの発表も個性があって、歌やダン とができ、とても楽しかったです。 まな学年のパフォーマンスを見るこ 感も味わえました。当日は、 成に近づいていくのが嬉しく、 がら描いていくうちに、少しずつ完 触れると思うとやりがいを感じまし 描く役割を担当しました。思ったよ た。文字の配置や色合いを工夫しな 今年の学校祭では、私は垂れ幕を 劇などそれぞれの魅力が表れて 自分の作品がみんなの目に 時間もかかり正直疲れま さまざ 達成

学校祭を終えて」

二年A組 大林 結衣

思いました。 をギリギリになってから変更したの 大切さです。私たちの学年はテーマ を学びました。一つ目は、計画力の に計画をし、準備をした方がいいと 人に迷惑をかけてしまうので、早め で少し揉めてしまいました。 、ギリで何かしようとすると色々な 私は、学校祭を終えて二つのこと 期限ギ

す。来年は三年生で最後の学校祭な 物ができました。来年も続けけるこ げで一年生の時より良い作品や出し ので学んだことを活かし、 とができたらいいなと思いました。 部門など関係なく他の場所を手伝い い出をつくれるよう頑張りたいで 全員で学校祭を楽しめたと思いま に行く人が多かったです。そのおか です。今年は自分の仕事が終われば 二つ目は、協力することの大切さ 色々なことがありましたがクラス 楽しい思

- 学校祭を終えて」

三年A組 大林 陽柚

番楽しく、そして達成感のあるものになり

準備期間中だけでもクラスの一体感が深ま 作業中に笑い合う場面があったりと、 か手伝おうか?」と声をかけてくれたり、 中でも担当の作業が終わった人たちが「何 直す必要がありました。うまくいかないと 目指しました。しかし、 っていくのを感じました。 だけでなく楽しさもたくさんありました。 きには不安や焦りもありましたが、そんな 上に大変なことも多く、何度も計画を立て 必要物品の確認、 ムに分けて、 準備期間中、 効率よく作業を進めることを 私は担当の係を二つのチー シフト調整など、想像以 進行状況の把握や 苦労

学校祭を楽しんでいる姿がとても印象的で 果たしながらも、それぞれの場所で全力で 本番では、全員が自分の役割をしっかり

実感しました。こうした経験を通して、学 との大切さや、 この学びは、これからの学校生活や将来に 長できる、大切な機会だったと感じました。 向き合い、協力し合うことで人としても成 校祭はただの行事ではなく、仲間と本気で もきっと生かせるとおもっています。 し合う中で信頼関係が深まっていくことを この学校祭を通して、 一つの目標に向かって協力 何度も話し合うこ

高校生活最後の学校祭は、 これまでで一







令和7年度PTA役員

四役

会 長	鈴木 和昭	(3年)
副会長	西尾 良太	(2年)
副会長	川村眞登香	(1年)
副会長	髙橋 豊	(校長)
会 計	高野 晴美	(1年)
会 計	桐生 俊也	(事務長)
監査	櫻井健一郎	(3年)
監査	矢木 康嗣	(1年)

事務局

事務局長	田中	裕子	(教頭)
会 計	桐生	俊也	(事務長)
	吉田	佑輔	
事務局員	林	昭宏	
	南部	玲生	

学年部・事業部各担当

事業部長	西尾 良太 (2年)
学年部長	大橋 渚(1年)
	石原優一郎 (2年)
	坪 幸子 (3年)

	総務担当	生活担当	研修担当
	西尾 良太		
主担当	櫻井健一郎	川村眞登香	高野 晴美
	矢木 康嗣		
1 学年	田中久美子	柚原 大作	大橋 渚
2 学年	大林 将秀	坂本奈緒美	石原優一郎
3 学年	坪 幸子	工藤 麻理	氏家明日香
担当教員	吉田 佑輔	林 昭宏	南部 玲生

高校の情報を掲載した Web サイト

大樹高校 |

検索

大樹高校の最新情報をご覧ください。



http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp



編集余錄

今年も暑い日が続き、三十度を超える日もありました。

学校祭では少しお手伝いしました が、暑さの中、生徒たちが楽しそうに 活動する姿が印象的でした。

実顔で盛り上げる様子を見て、皆にとって素敵な思い出になったと思元式す。保護者としても、子供たちの元気な姿に心温まりました。また、三学年探究成果発表会では、生徒たちが大樹町の課題を真剣に考え、新しいアイディアを提案する姿に感動しました。地域の未来をしっかりと見据えた発表は、どれも魅力的で、大樹町の可能性を感じさせるものでした。生徒たちの成長と熱意に、大きな拍手を送りたいと思います。

2年A組 保護者 西尾 良太

令和7年度事業計画

4月 3日(木) 第1回PTA四役会議 【内容】PTA運営に係る議事について

4月 8日(火) 1学年PTA懇談会(宿泊研修保護者説明会)

4月26日(土) PTA総会

5月14日(水) 第2回PTA四役会議 【内容】PTA役員総会に向けて

学校祭への参加・協力について

5月23日(金) 高P連十勝支部総会

6月 4日(水) PTA役員総会

6月 7日(土) 北海道高等学校PTA連合大会(函館市)

~ 8日(日)

7月 5日(土) 学校祭への参加・協力

~ 6目(目)

7月23日(水) 2学年見学旅行説明会

9月27日(土) 高P連十勝支部研修会

10月上旬 PTAだより「日方川」第138号発行

11 月上 旬 3 学年 P T A 懇談会 (自動車運転免許取得保護者説明会)

3月 1日(金) PTAだより「日方川」第139号発行